

会 議 結 果 の お 知 ら せ

1 開催した会議の名称

第2回上浦地域振興審議会

2 開催日時

令和3年11月25日(木) 19時00分から21時00分

3 開催場所

佐伯市上浦大字津井浦1400番地3
佐伯市上浦振興局 2階 大会議室

4 出席者

(地域振興審議会委員)

会長 山矢 隆彦 副会長 鱈石 朝子

委員 池田 敬、大野 仁士、ホーウェンス ジョナサン ルイス、坂本 素子

白川 尚樹、野田 郁子、松下 教子

(委員10名中9名出席)

(上浦振興局)

振興局長兼地域振興課長 金田 誠

総括主幹 管 正晴

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

0人

7 議題及び結果

(1) 令和3年度事業の進捗状況について(上浦振興局説明)

第2次佐伯市総合計画に沿った今年度の上浦地域の事業進捗状況について説明した。【資料1】

(2) 上浦の将来(後期計画に向けて)について(上浦振興局説明)

佐伯市及び上浦地域の人口推計を基に人口減少及び少子高齢化の実情の把握を図った。【資料2】

(3) 意見交換(フリートーク)

事業内容及び今後の上浦地域の将来像について意見交換を行った。

8 審議の内容

協議事項説明の後、主な発言内容は以下のとおり。

○コロナ禍の中、他地域と比較しても上浦地域はよく頑張っていると「市長との意見交換会」でも報告をした。

○豊後二見ヶ浦遊歩道設置事業において「全て行政頼みでなく、民間の力を借りて資金づくりをしていることは素晴らしい」と市長からも称賛していただいた。関係人口を構築する取り組みはとて面白い。

○若い人の意見を反映するためにも「新たなコミュニティ組織」の構築は必要である。役職指定で組織づくりをするのではなく、地域内で実際に頑張っている人で組織することが望ましい。早い段階で「新たなコミュニティ組織」づくりに取り組んで行った方がいいと思う。

○地域振興審議会の委員が積極的に「新たなコミュニティ組織」に関わっていく必要がある。だが、重たいものを背負うのではなく、自分のスタンスで気軽な感じで参加をして欲しい。それが地域のためになると感じる。

○来年度から上浦の施設の指定管理者が変更になると思うが、天海展望台や旧海鮮レスト橋の有効活用を促した方がいいのではと思う。

→ R4年4月からしおさいの里周辺の指定管理は梅田水産、瀬会海岸簡易宿泊所の指定管理は佐伯市内の会社が担う予定。展望台及び橋については財産管理をしている担当課と協議を重ねる。

○旧豊水寮の跡地は、オートキャンプ場やドッグランなどの施設整備ができないか。

○天海展望台に新しい看板ができたが、せっかくの景色を見てもらうために2階へ誘導する工夫が欲しい。以前は薄暗くて怖い感じがした。

○天海展望台の建物や中にある300mmの望遠鏡の有効活用はできないか。オークションやメルカリなどで公売するなど。

→ 現在、財産活用係にて活用方法や売却、解体等の検討を進めている。

○人口減少に伴い商店などの消費が低下するため、交流人口の増加をしていかなければ成り立たない。難しい問題であるが、SNS(FB・インスタ等)などでPRはしている。

○上浦出身の若者が「上海倶楽部」という団体を作り、インスタグラムで上浦をPRしている。フォロワーも300人を超えており、それを見て上浦に来る人もいる。

○豊後二見ヶ浦遊歩道設置事業のクラウドファンディングの現時点での寄付総額が嬉しい。ここにいる人で今からフェイスブックで拡散してみないか。

→ ほとんどの人がフェイスブックをやっていなかった。

○若者はインスタグラムが主流で、フェイスブックのリアクションは薄い。インスタでもロックをかけている人も多く、拡散するにも難しい部分がある。新聞も取っていない家庭も増えてきた。

○遊歩道設置事業の企業版ふるさと納税に関して、成豊建設、寿建設、大分トリニータなど接点があるので、直接チラシ等を送付して欲しい。自分の名前を使ってもよい

→ 上浦振興局から直接送付します。西南水産、アクアファームにも依頼してきました。今後も皆さんからの情報をいただくと助かる。

○キャンプファイヤーのクラウドファンディングのリターンが弱すぎる。願い事札1枚のリターンは嬉しい。なぜ、御守りを返礼品にしないのか。変更をかけられるのであれば、御守りを返礼品にして欲しい。

→ そもそも返礼品ありきで寄付依頼をしたものではない。委託先に変更可能かの相談を試みる。

○「うみたまご」が餌代不足で、クラウドファンディングをした時の返礼品がアザラシの手形であったが、インパクトがあり面白い。工夫次第だと感じる。

- SNSに弱い方の受け入れ態勢はできているのか。
 - 寄付者の年齢層は高い傾向にあるため、直接受け取りに行ったり、口座振り込みの手法を伝えるなど、賛同していただく方への細やかな対応はしている。
- 遊歩道が出来たあかつきには、伊勢神宮、皇居に向かうような導線を示し、祈願できるストーリーが欲しい。
 - 遊歩道の先端に祈願ができる平場を作るよう設計している。祈願させるイメージも持っている。
- 賽銭箱を設置したらどうか。
 - 遊歩道を渡る手前にユニットハウスを設置し、願い事札の記載やグッズの販売、願い玉による祈願行為などいろいろ知恵を出している。
- 大地酒造上浦醸造所前の暁嵐川に飲食できるスペース(川床)を作り、花笑みとマグロ料理を振る舞うような演出も面白いと思う。
 - いいアイデアと思う。これから先、行政だけが何事も進めるのではなく、住民や民間企業の参入が必須であると感じる。
- 遊歩道設置事業で目標額に達成しなかったらどうなるのか。達成しなかった時に逆にマイナスイメージをつけるのではないか。
 - 目標額に達成しなくとも市の支援をいただくことになっている。達成しなかった場合にイメージが悪くなるか分からないが、設置後の情報発信、ソフト事業が大切になると思う。
- 今後の上浦地域を考えていくためにも、この振興審議会も1、2度だけではなく、必要時に開催する必要がある。
 - 地域の維持・発展を求める場合、住民のアイデアや行動力は不可欠なので開催したい場合は、申し出いただきたい。時期をみて飲酒しながらやってもいいと思う。
- 上浦幼稚園の園庭は、子どもを遊ばせるのに身近で便利であるため、自由に出入りをしてもいいのか。
 - 小学校及び教育員会に確認し回答する。
- 今年の手作り人形劇団「つくしんぼ」の観劇会は中止。
- 上浦振興局で今月から空き家調査を行っており、集約出来たら情報提供するので、空き家活用のアイデアをいただきたい。

9 会議の資料名一覧

- 第2次佐伯市総合計画 7.地域が輝くまちの創生(抜粋) 【資料1】
- 人口推計(佐伯市及び上浦地域) 【資料2】

10 問い合わせ先

担当課 地域振興部 上浦振興局地域振興課 地域振興係
 電話番号 0972-32-3111